



小中学生による建設工事風景図画作品

水戸市立内原中学校／根本 怜さんの作品

△主な内容▽

- ▼ 関東地方整備局と意見交換会を開催
- ▼ 鈴木常任理事が旭日双光章を受章
- ▼ 関東地方整備局と遠隔臨場勉強会
- ▼ 各支部が意見交換会や清掃活動

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

設計精度の向上などを要望

関東整備局、県土木部と意見交換会

本会は11月1日、国土交通省関東地方整備局、茨城県土木部との意見交換会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。石津健光会長や副会長、支部長、常設委員会の委員長が出席。関東整備局に対しまして、詳細設計の精度向上や品質証明員制度など4項目について要望し、意見を交わしました。



若林局長



仙波部長



石津会長



施工上の課題などについて意見交換を行いました

あいさつで関東地方整備局の若林伸幸局長は「受発注者相互の働き方改革を進めていきたい。ご提案いただいたテーマについて忌憚のないご意見を」と呼び掛けました。

仙波義正県土木部長は「地元建設業は地域の守り手として不可欠な存在。さらなる連携を深めてまいりたい」と話しました。

本会の石津会長は「地域における基幹産業として、地域の守り手という使命を継続して果たしていかなければならない。意見交換がお互いにとって実りの多いものとなれば」と期待を寄せました。

議事では、関東地方整備局が最近の建設産業行政の動きとして建設キャリアアップシステムな

どを紹介。

本会からは各支部や建設未来協議会、建女ひばり会の活動状況を説明。

さらに、令和元年の台風15号や台風19号による復旧対応状況、本年2月の鳥インフルエンザ防疫業務、ICT施工研修会、働き方改革へ向けた県内公共工事の一斉休工日の設定など、地域社会への貢献活動、担い手確保に向けた取り組みなどを進めていることを紹介しました。

意見交換では、本会から①詳細設計の精度向上 ②品質証明員制度 ③既製杭工の実勢単価との乖離 ④3次元施工データの取り扱い—について要望。関東整備局が取り組みなどを回答しました（詳細は次ページに掲載）。

品質証明員の要件緩和を 既製杭工で実勢価格把握

意見交換の内容

詳細設計の精度向上

【茨建協】

詳細設計の精度向上と地域住民への事前調整に十分配慮いただくとともに、設計コンサルタントへのさらなる指導、技術職員の確保について検討をいただきたい。

【関東整備局】

適正な工期に向け、概略工程表を用いた工事工程のクリティカルパスや条件明示チェックリストを用いた関係機関との協議状況などを開示している。着工前の設計審査会でこれらを確認する。

品質証明員制度

【茨建協】

現場では従来の工事書類と品質証明用の書類という同様の書類を二重で作成しなければならず、負担となっている。品質証明員に値する人材の確保に困難を極める機会が多々あり、品質証明員の資格要件緩和をはじめとする制度の見直しを検討願いたい。

【関東整備局】

第三者による品質証明員は、監督職員に代わり段階確認や材料確認などを臨場により確認し、監督職員への報告・提出に必要な書類は第三者による品質証明員が作成する。施工者において準備する臨場に必要資料は、既存資料の活用や添付資料を最小限にするなど業務負担軽減に努める。

既製杭工の実勢単価との乖離

【茨建協】

設計資材の実勢単価の把握は、どうしても後追いになり、現地で大きな乖離が見られることがある。特に既製杭工（コンクリート杭費＋施工費）について大きく乖離があり、不調不落の原因の一つとなっている。実勢価格を把握する調査回数を増やし、見積活用方式の採用をお願いしたい。

【関東整備局】

近隣の需要が重なる調達環境が厳しい建設資材は、材料単価を公告時に参考資料として公表する試行に取り組んでおり、既製杭工（コンクリート杭費＋施工費）も、この適用を検討していく。

施工費は標準積算との乖離が生じる場合には、見積活用方式を検討していく。

3次元施工データの取り扱い

【茨建協】

現場で3次元設計データを3次元施工データに変えなければならず時間と労力を費やしている。3次元施工データが必要となった場合には、変更対象として費用を認めていただきたい。

【関東整備局】

「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」は見積もりを活用しているが、現場条件の変更等により差異が生じた場合は、根拠資料等により妥当性を確認し、適正な費用を計上する。

鈴木一良常任理事が旭日双光章

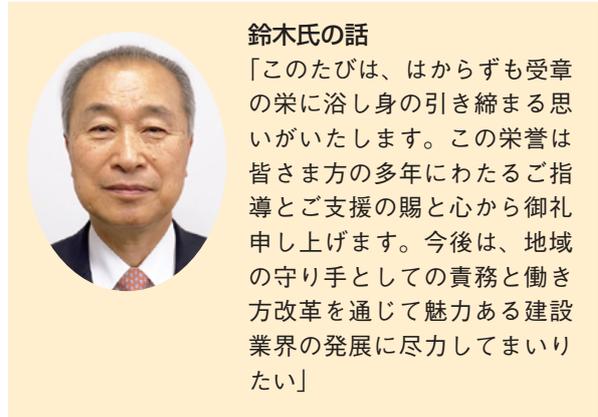
おめでとうございます

令和3年秋の叙勲で本会の鈴木一良常任理事（鈴縫工業(株)代表取締役会長）が建設業振興功労の功績が称えられ、旭日双光章を受章されました。まことにおめでとうございます。益々のご活躍を祈念いたします。

鈴木氏は昭和21年6月生まれの75歳。昭和44年に早稲田大学第一政治経済学部を卒業後、(株)大林組に入社。昭和47年に鈴縫工業(株)に入社し、平成10年から代表取締役社長、令和元年から代表取締役会長を務めています。

本会では平成14年5月から常任理事、高萩支部では平成8年4月から理事、平成30年から副支部長として県内建設業の振興発展に尽力されています。

建設業一筋に精励し、社業発展に精励すると



鈴木氏の話

「このたびは、はからずも受章の栄に浴し身の引き締まる思いがいたします。この栄誉は皆さま方の多年にわたるご指導とご支援の賜と心から御礼申し上げます。今後は、地域の守り手としての責務と働き方改革を通じて魅力ある建設業界の発展に尽力してまいります」

もに優良工事の施工により、公共福祉の増進に尽力。「地域の守り手」という建設業の社会的使命を果たしています。

平成19年7月には国土交通大臣表彰を受賞。平成26年4月には黄綬褒章を受章されています。

遠隔臨場の活用へ

関東整備局と勉強会



本会は建設現場での遠隔臨場を活用していくため、国土交通省関東地方整備局などとの勉強会を10月18日に常陸河川国道事務所で開催しました。

常陸河川国道の大山修副所長は「関東地方整備局では4月に建設現場の遠隔臨場の試行方針を策定した。遠隔臨場は時間が短縮でき、工程管理やコロナ感染防止にも寄与する。受発注者の働き方改革や生産性向上に役立てれば」と期待を寄せました。

働き方の見直しを

労働局から要請がありました



本会は10月27日、茨城労働局より長時間労働の削減をはじめとする働き方の見直しを要請されました。仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のとれた働き方へ、建設業では特に長時間労働や休日の確保などが課題で、実情に応じた働き方の見直しを求められました。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

令和3年度

茨城県技術者表彰受賞者 (10月表彰分)
※受賞者(企業名)

【水戸土木事務所】

- ◆ 沢田康史 (田口建設工業(株))
- ◆ 富岡宏延 (平和建設(株))
- ◆ 豊原健人 (菅原建設(株))
- ◆ 添田正雄 (榎秋山工務店)
- ◆ 吉田仁一 (榎綿正工務店)
- ◆ 田口相州 (榎大貫工務店)
- ◆ 奥村雅子 (有)小池工務店)
- ◆ 菊地淳 (榎潤沼建設工業)
- ◆ 清水恵二 (有)清水工務店)
- ◆ 藤井晃一 (榎本田工業)
- ◆ 手塚俊雄 (榎田口工務店)
- ◆ 高柳寿生 (榎豊島工務店)
- ◆ 小林幸江 (榎小林工業)
- ◆ 鈴木寿彦 (興和工業(株))
- ◆ 野上貴也 (三興電気(株))
- ◆ 根本諭司 (高橋建設工業(株))
- ◆ 増井高志 (東洋工業(株))
- ◆ 石川聡 (榎植幸)
- ◆ 大貫禎影 (榎大貫工務店)
- ◆ 江幡浩二 (芳野工業(株))

【常陸太田工事事務所】

※優秀主任(監理)技術者表彰

- ◆ 海野和宏 (有)飛田組)
- ◆ 鈴木欽一 (榎鈴木組)
- ◆ 平山浩二 (榎梅原工務店)
- ◆ 宇野晴彦 (榎根本工務所)
- ◆ 井坂陽介 (榎井坂組)
- ◆ 後藤一憲 (榎後藤工務店)

※現場代理人感謝状

- ◆ 茅根大貴 (有)生田目工務店)
- ◆ 石崎真史 (珂北開発(株))
- ◆ 鴨志田正己 (榎根本工務所)
- ◆ 石井喜久夫 (有)飛田組)
- ◆ 古市富男 (大木建設(株))
- ◆ 黒澤順 (有)黒澤組)

【高萩工事事務所】

※表彰状

- ◆ 鈴木太一 (榎秋山工務店)
- ◆ 小林貴之 (有)大和工務店)
- ◆ 谷中光志 (田岡建設(株))
- ◆ 高安勝 (榎岡部工務店)
- ◆ 古川英希 (榎古川工務店)
- ◆ 千葉和弘 (榎千葉工務店)
- ◆ 北見泉 (山川建設(株))
- ◆ 佐藤真一 (榎根本組)
- ◆ 小森廣行 (サコー建設(株))

※感謝状

- ◆ 照沼勲 (榎岡部工務店)
- ◆ 芳賀裕伊 (有)大和工務店)
- ◆ 沼田憲夫 (有)春木屋建設)

【潮来土木事務所】

- ◆ 桃川明夫 (常総開発工業(株))
- ◆ 茂木教生 (水郷建設(株))
- ◆ 戸田慎一 (榎鹿島建設)
- ◆ 柳堀享 (大勝建設(株))
- ◆ 川井一男 (榎根本工務店)
- ◆ 増田昌史 (誠殖産工業(株))
- ◆ 上田英輝 (榎飛田工務店)
- ◆ 松坂秀夫 (榎菱木土建)
- ◆ 小沼正夫 (榎郡司建設)
- ◆ 橋本賢司 (榎鈴木工務店)
- ◆ 飯嶋北斗 (司建設(株))
- ◆ 浅野誉昌 (松崎建設(株))

【鉾田工事事務所】

- ◆ 伊東優考 (榎伊東建設)
- ◆ 齋藤保男 (榎根崎工務店)
- ◆ 羽生貴之 (榎羽生工務店)
- ◆ 郷州和男 (榎田口建設工業)
- ◆ 高野一男 (藤枝建設(株))
- ◆ 上田淳 (榎内田建設)
- ◆ 松兼聡 (榎ミドリヤ)
- ◆ 酒井清 (榎大輝建設)
- ◆ 鈴木早苗 (有)鈴木工務店)
- ◆ 齋藤卓也 (榎齊藤建設工業)

【土浦土木事務所】

※本所

- ◆ 市村明延 (市村土建(株))
- ◆ 金子晶 (星田建設工業(株))
- ◆ 平川裕一 (佐々木建設(株))
- ◆ 古渡達 (千代田建設(株))
- ◆ 大場吉浩 (白田組土木(株))
- ◆ 鈴木春男 (榎菱伸工営)
- ◆ 飯島茂美 (公洋建設(株))
- ◆ 池田孝助 (東亜工業(株))
- ◆ 森和久 (榎ムラノ)
- ◆ 森誠 (榎良興)
- ◆ 大濱大吾 (榎新みらい)
- ◆ 矢作知儀 (成島建設(株))
- ◆ 原信田稔 (原信田建設(株))
- ◆ 飯田公康 (谷原建設(株))

※つくば支所

- ◆ 齊藤誠 (榎齊藤建設)

- ◆ 飯村貴幸 (日東エンジニアリング(株))

- ◆ 藤枝光 (福井建設(株))
- ◆ 志賀力 (榎高田工務店)

【竜ヶ崎工事事務所】

- ◆ 山崎卓 (桂建設(株))
- ◆ 本間英徳 (栗山工業(株))
- ◆ 湯原渡 (常磐建設(株))
- ◆ 酒井暢宏 (大竹建設(株))
- ◆ 夏友勤 (キムラ工業(株))
- ◆ 根本正 (櫻井建設工業(株))
- ◆ 糸賀哲男 (大昭建設(株))
- ◆ 飯島正雄 (天海建設(株))
- ◆ 高橋俊充 (日本ファブテック(株))
- ◆ 谷頭英昭 (福智建設工業(株))
- ◆ 山本真一 (細谷建設工業(株))
- ◆ 吉田茂 (増川建設(株))
- ◆ 井坂幸雄 (松浦建設(株))
- ◆ 森山高好 (松野建設(株))
- ◆ 鈴木和夫 (榎日田建設工業)
- ◆ 金井正伸 (大竹建設(株))

【常総工事事務所】

※優良主任(監理)技術者

- ◆ 小山悟 (榎下妻建設)
- ◆ 鈴木裕一 (榎染谷工務店)
- ◆ 廣瀬登 (石塚産業(株))
- ◆ 秋田義弘 (榎山庄工業)
- ◆ 豊島幹雄 (榎大堀工務店)
- ◆ 樽一成 (榎大木組)
- ◆ 野村幸雄 (ライナー建設(株))
- ◆ 野中泰博 (常総ブロック(株))
- ◆ 柴信一 (旭建設工業(株))
- ◆ 人見雄二 (正栄工業(株))
- ◆ 草間薫 (染谷建設(株))
- ◆ 廣沢努 (野口機設工業(株))

※優良主任技術者感謝状

- ◆ 川田智也 (榎飯野工業)
- ◆ 湯本秀男 (榎菊池土建)
- ◆ 鈴木勝美 (大坂建鋼(株))
- ◆ 会田康之 (石塚産業(株))

【鹿行農林事務所】

- ◆ 須部菊雄 (榎根本工務店)
- ◆ 茂木教生 (水郷建設(株))
- ◆ 大塚敬 (榎田崎技術)
- ◆ 黒澤雄三 (榎齊藤建設工業)
- ◆ 山野知也 (塚本建設(株))
- ◆ 小林秀盛 (榎新堀産業)

支部活動報告

水戸支部



クレームへの対処研修

水戸支部（下田徳行支部長）は10月19日、建設業経営講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。講師の日本クレーム対応協会代表理事の谷厚志氏は「お客様の怒りを笑顔に変える」クレーム対処の心構えなどを解説しました。

鉾田支部



安全大会でゼロ災害決意

鉾田支部（羽生義隆支部長）は10月20日、令和3年度の安全衛生大会を支部会館で開催。労働安全や交通安全に関する講話などを通じ、安全衛生に関する知識と意識の共有を図りました。羽生支部長は「安全を最優先として、現場環境の維持が不可欠であり、災害ゼロは皆の願い」と呼び掛けました。

水戸支部



建築講習会で安全学ぶ

水戸支部（下田徳行支部長）の建築委員会は、水戸市建設業協同組合（根本勝義理事長）の建築委員会との共催で10月13日、建築講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。安全を守るための心構えについて理解を深めました。

土浦支部



会員が献血に協力

土浦支部（小林伸行支部長）は10月6日、地域貢献活動の一環として献血ボランティア活動を実施。支部会員から56人が協力しました。小林支部長は「コロナ禍の中、献血量が減っていると聞いている。地域貢献活動として協力していきたい」と話しています。土浦支部の献血活動は今回で2回目。

常陸大宮支部



週休2日などで意見交換

常陸大宮支部（高野潔支部長）は10月26日、茨城県常陸大宮土木事務所（石川博章所長）との意見交換会を同事務所で開催。議事では、電子契約の導入や工事の安全対策を同事務所が要請。支部では週休2日制の振替日や熱中症対策における経費補正などを要望しました。

竜ヶ崎支部



適正施工へ県と意見交わす

竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は10月22日、茨城県竜ヶ崎工事事務所（生田目好美所長）との意見交換会を同事務所で開催。週休2日制の考え方、監理技術者補佐の取り扱い、交通誘導員の増員、総合評価入札の施工実績などについて協議を行いました。

各支部が道路美化活動

潮来支部



潮来支部（松崎里志支部長）は10月27日、茨城県潮来土木事務所、潮来市、潮来市建設業組合と合同で道路環境美化活動を行いました。総勢約100人が参加し、缶やペットボトル、ごみなどを回収しました。

常総支部



常総支部（中川原勇支部長）は10月15日、茨城県常総工事事務所と下妻市、常総市、八千代町の管内市町役所などと合同で道路美化活動を行いました。総勢約120人が参加し、3地区に分かれて140kgのごみを回収しました。

鉾田支部



鉾田支部（羽生義隆支部長）は10月25日、茨城県鉾田工事事務所や行方市、鉾田市と協力し、道路美化清掃活動を行いました。総勢約100人が参加し、45リットルのごみ袋で可燃物127袋、不燃物53袋を回収しました。

境支部



境支部（新井孝支部長）は10月14日、茨城県境工事事務所や古河市、坂東市、境町、五霞町と協力して清掃活動を実施。支部からは46社の273人が参加し、国道354号などでごみ拾いなどに汗を流しました。

筑西支部



筑西支部（小薬拓巳支部長）は10月21日、茨城県筑西土木事務所や筑西市、結城市、桜川市と協力し、道路清掃美化活動を行いました。支部では約210人が29班体制を組み、作業にあたりました。

常総支部・建設未来協議会



常総支部の建設未来協議会地区会員は10月15日、下妻市にある豊加美歩道橋で花壇整備を行いました。新型コロナウイルスの影響で通学時に会話もできない状況が続いていますが、花壇の花が少しでも通学時の楽しみになればと実施。パンジーやノースポール、チューリップの球根などを植え付けました。

建退共からの お知らせ

電子申請のご利用を！

建退共では令和3年10月1日以降、制度改正のため証紙の金額が310円から320円になりました。この機会に交換等の事務手続きが不要な電子申請方式のご利用をお勧めいたします。

詳細は建退共ホームページをご覧ください。

<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>

電子申請のお問い合わせ

建退共本部

電子申請方式専用ヘルプデスク

TEL 0120-006-175

証紙貼付方式

共済証紙は、令和3年10月1日より、320円証紙のみ販売しております。

令和3年9月30日まで

310円証紙 販売終了



令和3年10月1日から



※余った310円証紙は
差額を払って
320円証紙に交換

320円証紙 販売期間



10月以降、
310円証紙は販売していません！

電子申請方式

電子申請では、就労実績報告作成ツールに登録された就労日の日付で、310円と320円の判別をシステムが自動的に行いますので便利です。

就労実績報告作成ツール(就労実績を入力)



9月就労分

310円で
掛金充当

電子申請
専用サイトで
自動判別



10月以降
就労分

320円で
掛金充当